

## 諏訪之瀬島と平島における2012年10月と2013年4月の昆虫記録

金井賢一\*・守山泰司\*\*

The recorded insects of Suwanose-jima and Taira-jima (Tokara Islands) in October 2012 and April 2013

Kenichi KANAI\* and Taiji MORIYAMA\*\*

### はじめに

筆者らは2012年10月と2013年4月に、諏訪之瀬島と平島の昆虫を調査する機会を得た。ここにその結果を報告する。

筆者らは今までヒメシルビアシジミ、タイワンツバメシジミに注目しながら、トカラ列島の昆虫相を調査してきた。今回、秋と翌年の春とを比較することで、ヒメシルビアシジミが越冬・定着できるかどうかについての知見を得られると予想し、調査を実施した。タイワンツバメシジミに関しては、発生期を外れていたために分布の確認には適さなかったが、食草であるシバハギの状態などを確認できた。

なお、今回の調査のために便宜を図っていただいた十島村に深く感謝する。また蛾類の同定は福田輝彦氏に大変お世話になった。お礼申し上げます。

### 1 調査者

金井賢一：鹿児島県立博物館学芸主事

守山泰司：鹿児島県立博物館外部協力者、鹿児島昆虫同好会

### 2 2012年10月の調査日程

10月12日（金）23：50 鹿児島発フェリーとしま

（平島－金井：図1参照）

10月13日（土）8：30 平島着

平島集落～ヘリポート～水源地～東之浜～平島集落。夕食後運動公園にて灯火採集。

10月14日（日）午前中

平島集落（ヘリポートを中心に調査）

平島発（11：30）フェリーとしま

移動は航送したバイクおよび徒歩にて行った。

\* 10月13日の到着時から曇っていたが、雨に降られることはなく、時折日差しがありチョウ類が飛ぶ時間



図1 平島調査地

帯もあった。翌14日は曇天かつ強風で、虫たちの活動は活発でなかった。昼前には雨が降り出して、調査できなくなった。

（諏訪之瀬島－守山：図2参照）

10月13日（土）9：30 諏訪之瀬島着

諏訪之瀬島集落～ナベダオ～集落～諏訪之瀬島空港～諏訪之瀬島集落

10月14日（日）午前中

諏訪之瀬島集落～諏訪之瀬島空港

諏訪之瀬島発（10：40）フェリーとしま

すべて徒歩で調査を行った。

\* 10月13日の到着時より、フィリピンの東にあった台風21号の影響で雲が多く、断続的に強風が吹いていた。調査開始の時点では、時折日差しもあったが、13：30～17：00ごろは小雨も降り、肌寒さを感じるような、調査には厳しい気象条件であった。10月14日も雨は降らないものの、気温は上がらず、昆虫の活動は低調であった。

10月14日（日）鹿児島着（20：50）

\* 鹿児島県立博物館：〒892-0853 鹿児島市城山町1-1

\*\* 鹿児島昆虫同好会

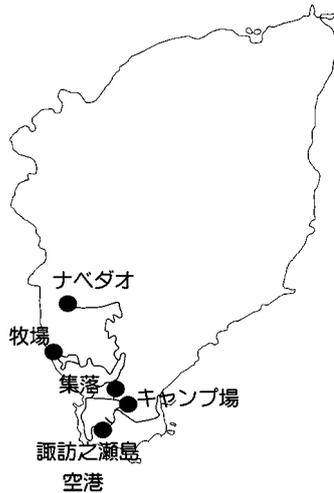


図2 諏訪之瀬島調査地

### 3 2012年10月の調査結果

以下に採集・観察した昆虫を記す。なお、文中の\*印は、注意していたにもかかわらず今回記録できなかった種である。

#### (1) 平島の昆虫

採集者は全て金井であり、Kと略記する。

チョウ目（鱗翅目） **LEPIDOPTERA**

セセリチョウ科 **Hesperiidae**

イチモンジセセリ *Parnara guttata*

平島集落(4♂2♀K 13. X. 2012)(1♀K 14. X. 2012)

シロチョウ科 **Pieridae**

キチョウ *Eurema hecabe*

平島集落(1♂K 13. X. 2012)

この個体以外に見られなかった。

シジミチョウ科 **Lycaenidae**

ムラサキツバメ *Narathura bazalus* (図3)

集落～水源地への道(多数目撃K 14. X. 2012)

平田(1995)によれば平島にはマテバシイは分布していないが、新鮮な個体が複数頭見られた。

クロマダラソテツシジミ *Chilades pandava*

平島集落(3♂4♀K 13. X. 2012)(2♂K 14. X. 2012)

かなり多数見られた。

ウラナミシジミ *Lampides boeticus*

平島集落(1♀K 14. X. 2012)

ツバメシジミ *Everes argiades hellotia*

平島集落(1♂K 14. X. 2012)

平島初記録である。福田・守山(2013)において、迷蝶として表記されたのはこの記録である。



図3 ムラサキツバメ

ヤマトシジミ *Zizeeria maha*

平島集落(1♂K 13. X. 2012)(4♂2♀K 14. X. 2012)

ヒメシルビアシジミ *Zizina otis* (図4)

平島集落(2♀K 13. X. 2012)(6♂2♀K 14. X. 2012)

コミュニティセンターの敷地内、平島小中学校の校庭、ヘリポートなど、多数見られた。特にヘリポートにはウマゴヤシの仲間、ハイメドハギが多数生えており、発生の中心地となっていた。



図4 ヒメシルビアシジミ

\*タイワンツバメシジミ *Everes lacturnus*

集落内の道路法面や、ヘリポート近くにある耕作放棄地などに、食草であるシバハギの大きな群落が形成されており、幼虫が越冬に使うようなイネ科草本も混じっているため良好な環境と思われる(図5)。平島では守山により1♀の記録があるが(中峯, 2008)、これは2007年9月29日に新鮮な個体を採集したものである。安定して分布しているかどうか確認するには、9月中旬から下旬に

調査する必要があるだろう。



図5 シバハギが繁茂した耕作放棄地

タテハチョウ科 **Nymphalidae**

アカタテハ *Vanessa indica*

平島集落 (弱齢幼虫目撃 K 13. X. 2012)  
少ない。

アサギマダラ *Parantica sita*

平島集落 (1 ♂ K 13. X. 2012)

ツトガ科 **Crambidae**

ナカオビノメイガ *Hydriris ornatalis*

平島集落 (1 ♀ K 13. X. 2012)

ナカキトガリノメイガ *Preneopogon catenalis*

平島集落 (1 ♀ K 13. X. 2012)

マエアカスカシノメイガ *Palpita nigropunctalis*

平島集落 (1 ♂ K 13. X. 2012)

フキノメイガ *Ostrinia zaguliaevi*

平島集落 (1 ♀ K 13. X. 2012)

シャクガ科 **Geometridae**

サザナミシロアオシャク *Thalassodes immissarius*

平島集落 (1 ♂ K 13. X. 2012)

ギンバネヒメシャク *Scopula epiorrhoe*

平島集落 (1 ♀ K 13. X. 2012)

スズメガ科 **Sphingidae**

ホシホウジャク *Macroglossum pyrrosticta*

平島集落 (1 ♀ K 13. X. 2012)

クロホウジャク *Macroglossum saga*

平島集落 (1 ♀ K 13. X. 2012)

ヒトリガ科 **Arctiidae**

ヒトテンアカスジコケガ *Cyana unipunctata*

平島集落 (2 ♀ K 13. X. 2012)

ヤクシマコケガ *Lyclene alikangiae intermedia*

平島集落 (2 ♀ K 13. X. 2012)

スジベニコケガ *Barsine striata*

平島集落 (3 ♀ K 13. X. 2012)

スジモンヒトリ *Spilarctia seriatopunctata nuda*

平島集落 (3 ♂ 1 ♀ K 13. X. 2012)

カクモンヒトリ *Lemyra inaequalis*

平島集落 (1 ♂ 2 ♀ K 13. X. 2012)

ヤガ科 **Noctuidae**

ハスモンヨトウ *Spodoptera litura*

平島集落 (1 ♀ K 13. X. 2012)

スジキリヨトウ *Spodoptera depravata*

平島集落 (1 ♀ K 13. X. 2012)

ヒメサビスジヨトウ *Athetis stellata*

平島集落 (1 ♂ 1 ♀ K 13. X. 2012)

オキナワウスイロコヤガ *Azumaia micardiopsis*

平島集落 (3 ♀ K 13. X. 2012)

イチジクキンウワバ *Chrysodeixis eriosoma*

平島集落 (1 ♀ K 13. X. 2012)

クロスジユミモンクチバ *Melapia japonica*

平島集落 (1 ♂ 2 ♀ K 13. X. 2012)

ハガタクチバ *Daddala lucilla*

平島集落 (1 ♀ K 13. X. 2012)

ヤクシマコブヒゲアツバ *Zanclognatha yakushimalis*

平島集落 (1 ♂ K 13. X. 2012)

アサケンモン *Plataplecta pruinosa*

平島集落 (3 ♂ 2 ♀ K 13. X. 2012)

(2) 諏訪之瀬島の昆虫

採集者は全て守山であり、Mと略記する。

セセリチョウ科 **Hesperiidae**

チャバネセセリ *Pelopidas mathias*

諏訪瀬島集落 (3 ♂ M 14. X. 2012)

集落内の畑の縁で局所的に見られたが、少なかった。

イチモンジセセリ *Parnara guttata*

諏訪瀬島集落 (2 ♂ M 13. X. 2012) (2 ♂ M 14. X.

2012), ナベタオ (3 ♂ M 13. X. 2012)

シロノセンダングサを訪花しているものなど、各地で普通に見られた。

\*クロセセリ *Notocrypta curvifascia*

諏訪瀬島未記録種。トカラでは口之島・中之島に記録がある。集落内にはゲットウが少なからずあり、丹念に探索したが幼生期も確認できなかった。

アゲハチョウ科 **Papilionidae**

見られなかった。集落内にハマセンダン、カラスザンショウの幼木が多数あり、幼生期も探索したが見つけることはできなかった。諏訪之瀬島には、アゲハチョウ科ではアオスジアゲハ、アゲハチョウ、

シロオビアゲハ、クロアゲハ、ナガサキアゲハ、モンキアゲハ、カラスアゲハが記録されている。

#### シロチョウ科 **Pieridae**

##### モンシロチョウ *Pieris rapae*

諏訪瀬島集落 (1 ♂ M 13. X. 2012)

この他には見かけなかった。

この他シロチョウ科で土着の可能性のある種として、モンキチョウ、キタキチョウ、スジグロシロチョウ、ツマベニチョウの記録があるが確認できなかった。

#### シジミチョウ科 **Lycaenidae**

##### ムラサキツバメ *Narathura bazalus*

集落 (5 ♂ 2 ♀ M 13. X. 2012), ナベタオ (1 ♀ M13. X. 2012)

御岳への登山道入り口近くの砂防ダム付近、神社近くでは普通に見られた。

##### ヤマトシジミ *Zizeeria maha*

諏訪瀬島集落 (9 ♂ 1 ♀ M 13. X. 2012)

集落内では普通に見られた。

##### ルリシジミ *Celastrina argiolus*

諏訪瀬島集落 (1 ♀ M 13. X. 2012)

この他には見かけなかった。

##### ウラナミシジミ *Lampides boeticus*

諏訪瀬島集落 (1 ♂ M 13. X. 2012)

この他は見かけなかった。

##### クロマダラソテツシジミ *Chilades pandava*

諏訪瀬島集落 (1 ♂ M 13. X. 2012)

集落内に植栽されたソテツには、食害痕が多数見られたが、成虫は多くはなかった。

#### \* ヒメシルビアシジミ *Zizina otis*

集落内の空き地にはヤハズソウの群落が少なからず見られたが、発見することはできなかった。その他西側の牧場の周りにはタチメドハギが、キャンプ場、滑走路（諏訪之瀬島空港）周囲にはヤハズソウが多数みられたが、探索時には小雨混じりの強風が吹き荒れており、生息していないとは断じきれない。

#### \* タイワンツバメシジミ *Everes lacturnus*

滑走路（諏訪之瀬島空港）脇の刈り込まれたスキの中などに、食草のシバハギは多かったが、発見することはできなかった。しかしながら、探索時は小雨混じりの強風が吹き荒れており、そのため発見できなかった可能性もある。また、シバハギは花が終わり結実しているものが多く、時期的にもやや遅かったかもしれない。中峯は2009年

9月23日～24日に調査を行ったが未発見であった。10月初旬に再調査を行ってみたい。

この他シジミチョウ科で土着の可能性のある種として、タイワンクロボシシジミ、アマミウラナミシジミの記録があるが確認できなかった。

#### タテハチョウ科 **Nymphalidae**

##### アカタテハ *Vanessa indica*

諏訪瀬島集落 (1 ♂, 終齢幼虫 4ex. M 13. X. 2012)

少ない。幼虫はカラムシで少なからず見られた。

##### リュウキュウアサギマダラ *Ideopsis similis*

諏訪瀬島集落 (5 ♀ M 13. X. 2012) (1 ♂ M 14. X. 2012)

植栽されたインドザクラを訪花しているもの、ガジュマルの気根で休んでいるものなど、集落内では普通に見られた。

#### \* カバマダラ *Danaus chrysippus*

見られなかった。集落内に食草のトウワタは少なくなかったが、幼生期も含め発見できなかった。

この他タテハチョウ科で土着の可能性のある種として、ツマグロヒョウモン、ヒメアカタテハ、イシガケチョウ、タテハモドキ、ルルタテハ、アサギマダラ、ウスイロコノマチョウの記録があるが確認できなかった。

## 4 2013年4月の調査日程

4月19日（金）23：00 鹿兒島発フェリーとしま

（平島－守山：図1参照）

4月20日（土）8：15 平島着

集落内および周辺～御岳南麓～大浦牧場など。

4月21日（日）午前中

集落内

平島発（12：10）フェリーとしま

移動は徒歩にて行った。

\* 4月20日は8：30から17：00まで調査をおこなった。11：30ごろまでは風は強いものの時折薄日が差していたが、その後は日差しもなくなり、気温も下がり虫影はほとんど見られなくなった。4月21日は朝から日差しはなく、風も強く時折小雨も降る天候で、蝶影をまったく見ることはなかった。

（諏訪之瀬島－金井：図2参照）

4月20日（土）9：10 諏訪之瀬島着

集落内および周辺～諏訪之瀬島空港～キャンプ

場～ナベダオ～牧場～集落

4月21日(日)午前中：雨で調査できず

諏訪之瀬島発(11:10)フェリーとしま

移動は徒歩にて行った。

\*4月20日は到着後15時頃までは曇天で、蝶の飛ぶことはほとんど無かった。その後小雨が降り、調査は食草の確認しかできないようになった。4月21日は朝から雨が降り続け、乗船前に港を散策する以外には調査できなかった。

4月21日(日)鹿児島着(21:10)

## 5 2013年4月の調査結果

以下に採集・観察した昆虫を記す。なお、文中の\*印は、注意していたにもかかわらず今回記録できなかった種である。

### (1) 平島の昆虫

採集者は全て守山であり、Mと略記する。

チョウ目(鱗翅目) **LEPIDOPTERA**

セセリチョウ科 **Hesperiidae**

イチモンジセセリ *Parnara guttata*

集落(10♂M 20. IV. 2013)

少ない。

このほかセセリチョウ科ではチャバネセセリの記録があるが、今回は確認できなかった。

アゲハチョウ科 **Papilionidae**

見られなかった。集落内に植栽のみかん類は少数あるものの、すべて1m程度の若木であった。カラスザンショウは4mほどのものを1本確認したのみ。ハマセンダンの記録はなく、今回も見つけることはできなかった。アゲハチョウ科では、これまでアオスジアゲハ、アゲハチョウ、シロオビアゲハ、ナガサキアゲハ、モンキアゲハが記録されているが、アオスジアゲハ以外のミカン科食いのPapilioが安定して発生を継続することは困難なのかもしれない。

シロチョウ科 **Pieridae**

モンシロチョウ *Pieris rapae*

集落(1ex.目撃M 20. IV. 2013)

少ない。

シジミチョウ科 **Lycaenidae**

ヒメシルビアシジミ *Zizina otis*

集落(1♂1♀M 20. IV. 2013)

少ない。集落内のヘリポートには食草となりそ

うなマメ科植物が多く、そこで採集した。ともに新鮮な個体であった。他にはそれらしい個体も見かけなかった。大浦牧場では、本種は確認できなかったが、食草となりそうなマメ科植物は多かった。

ヤマトシジミ *Zizeeria maha*

集落(3♂6♀M 20. IV. 2013)

少ない。

\*ムラサキツバメ *Narathura bazalus*

前年10月に金井が多数の本種を確認しており、御岳南麓の樹林帯など、注意していたが確認できなかった。

この他シジミチョウ科では、ウラナミシジミ、アマミウラナミシジミ、ツバメシジミ、タイワンツバメシジミ、クロマダラソテツシジミの記録があるが、今回は確認できなかった。

タテハチョウ科 **Nymphalidae**

アカタテハ *Vanessa indica*

集落(1ex.目撃, 終齢幼虫5exs. M:カラムシ 20. IV. 2013)

少ない。集落内および周辺のカラムシには若齢～終齢まで多数の幼虫が造巢していた。

ツマグロヒョウモン *Argyreus hyperbius*

集落(1♂目撃M 20. IV. 2013)

少ない。

アサギマダラ *Parantica sita*

集落(4♂目撃M 20. IV. 2013)

少ない。集落内のスイゼンジナに訪花していた。

この他タテハチョウ科では、カバマダラ、ヒメアカタテハ、ルリタテハ、タテハモドキ、イシガケチョウの記録があるが、確認できなかった。

### (2) 諏訪之瀬島の昆虫

採集者は全て金井であり、Kと略記する。総じてほとんど昆虫を見ることのできない調査であった。

バッタ目(直翅目) **ORTHOPTERA**

イナゴ科 **Catantopidae**

ツチイナゴ *Patanga japonica*

集落(1♂K 20. IV. 2013)

バッタ科 **Acrididae**

ショウリョウバッタ *Acrida cinerea*

集落(1幼生K 20. IV. 2013)

マダラバッタ *Aiolopus tamulus*

集落(1♂K 20. IV. 2013)

ハチ目(膜翅目) **HYMENOPTERA**

ツチバチ科 **Scoliidae**

アカアシハラナガツチバチ

*Megacampsomeris mojiensis*

集落 (1 ♀ K 20. IV. 2013)

ヒメハラナガツチバチ

*Campsomeriella (Annulimeris) annulata*

集落 (2 ♀ K 20. IV. 2013)

チョウ目 (鱗翅目) **LEPIDOPTERA**

シジミチョウ科 **Lycaenidae**

ヤマトシジミ *Zizeeria maha*

集落 (1 ♂ K 20. IV. 2013)

この個体以外見なかった。

タテハチョウ科 **Nymphalidae**

アカタテハ *Vanessa indica*

集落 (1 幼虫撮影 K 20. IV. 2013)

カラムシにいる幼虫を見たが、少なかった。

\*カバマダラ *Danaus chrysippus*

集落にトウワタ群落があったが、卵や幼虫、蛹共に確認できなかった。

他に海沿いの道路にツルモウリンカ、諏訪之瀬島空港にはイヨカズラ (ガガイモ科) の小規模な群落があったが、アサギマダラやリュウキュウアサギマダラの卵や幼虫は見つからなかった。

ヒトリガ科 **Arctiidae**

クワゴマダラヒトリ *Lemyra imparilis*

集落 (1 幼虫撮影 K 20. IV. 2013)

ヤガ科 **Noctuidae**

フクラスズメ *Arcte coerulea*

諏訪之瀬島飛行場 (1 幼虫撮影 K 20. IV. 2013)

## 6 ヒメシルビアシジミの定着に関する仮説

平島では2013年春に新鮮な個体が採集できたことから、この年の越冬が確認できた。現時点での本種の定着北限と推定される。

福田ら (1984) では、本種の周年経過に関して「南西諸島では冬季にも成虫が見られるところが多く、周年発生を繰り返していると推定される」とある。固定した越冬態を蛹としておらず、冬季も幼虫で摂食を継続するのであれば、この時期の食草の有無は定着の大きな要因となるだろう。

諏訪之瀬島で2012年10月に守山が確認したヒメシルビアシジミの食草となるようなマメ科植物は、2013年4月に金井が探したときには見つからなかった。4月にヤハズソウが生えているのを確認できた

のは、牧場周辺の道路脇のみである。飛行場ではシバハギは確認できたものの、10月に見られたというヤハズソウなどがなかった。ヤハズソウやウマゴヤシの仲間などのマメ科植物は、冬の間地上部が減少するように思われる。

口之島ではヒメシルビアシジミが2010年10月には確認できたが (金井・守山, 2012), 2011年4月には見られなくなっていた (金井・守山, 2013)。この時にも、前年秋に本種を確認した地点から、ヤハズソウなどの食草が全くなっていた。

ヒメシルビアシジミが近年確認される宝島、平島では冬から春にかけて十分な量の食草となるマメ科植物が見られるが、ヒメシルビアシジミの見られない中之島では、ごく限られたところにしか見られなかった (金井・守山, 2014)。

越冬時のヤハズソウ、ウマゴヤシの仲間、ハイメドハギなどの量が、トカラの島々でのヒメシルビアシジミの定着の可否を大きく左右している可能性がある。

## 引用文献

- 福田晴夫・浜 栄一・葛谷 健・高橋 昭・高橋真弓・田中 蕃・田中 洋・若林守男・渡辺康之 (1984) シルビアシジミ. 原色日本蝶類生態図鑑 III : 256-258.
- 福田晴夫・守山泰司 (2013) 鹿児島県産チョウ類の分布ノート. SATSUMA, 150 : 3-40.
- 平田 浩 (1995) 陸上の生物 (植物). 十島村誌 : 56-146.
- 金井賢一・守山泰司 (2012) 2010年10月口之島・中之島における昆虫記録. 鹿児島県立博物館研究報告書, 31 : 67-72.
- 金井賢一・守山泰司 (2013) 2011年4月と10月の口之島における昆虫記録. 鹿児島県立博物館研究報告書, 32 : 11-16.
- 金井賢一・守山泰司 (2014) 2012年4月中之島における昆虫記録. 鹿児島県立博物館研究報告書, 33 : 27-31.
- 中峯浩司 (2008) トカラ列島平島及び中之島の昆虫 (2007年秋). 鹿児島県立博物館研究報告, 27 : 83-92.
- 中峯浩司・守山泰司 (2010) 2009年秋トカラ列島口之島・諏訪之瀬島・宝島のチョウ類. 鹿児島県立博物館研究報告, 29 : 55-64.